

## 私たちはSDGsとつながっている！ Vol.2 私たちのプラスチックごみ、何が問題でしょうか？

先月7月号に続いて『SDGs』の世界と私たちのつながりについて考えてみようと思います。先月号では、私たちの生活上で必ずごみは発生し、ごみの処分過程においていろいろな問題を引き起こしていることについて触れました。私たちの生活に欠かせない物＝プラスチック、今回はプラスチックごみの何が問題なのか？について考えてみましょう。

日本プラスチック工業連盟の資料によると、世界平均で1人当たり年間41kgのプラスチックを消費しており、日本の1人当たりの消費量は75kgです。日本は生産量、消費量ともに世界第3位です。日本ではペットボトルなどは自治体で分別収集・リサイクルされ、再資源化は約86%に達していますが、家庭以外で出たプラスチックごみは汚れたままでは資源化されず、アジア諸国へ輸出されていたのです。

例えば、街で汚れたまま捨てたプラスチックごみが海外へ輸出され、そこで再資源化するためには、素材ごとに分別し洗浄しなければなりません。コストがかかるので、児童労働を含めた劣悪な労働環境、汚水の垂れ流し、不要部分の不法投棄、ダイオキシン類の発生などの問題が発生しました。そこで中国政府はここに目を向け、廃プラスチック輸入禁止措置に踏み切ったのです。行き場を失った廃プラスチックは、今度はベトナムやタイ、マレーシアなどの東南アジアの国々に輸出されています。

2021年より汚れたプラスチックごみを輸出する際には事前に相手国の同意が必要とされ、今までのようにごみ処理を海外ですることが難しくなり、自分たちの出したごみは、自分たちで処理しなければならない「自国内処理の原則」に立ち返らなければならなくなりました。

### 【消費者へのアドバイス】

- レジ袋の使用削減がごみ問題の解決になるのか？、私たちが身の回りの製品一つ一つに意識を持ち、どこまでの利便性を追求するのか、プラスチックの機能が必要なものは何か、そうした視点から製品を購入すること、意識を持った消費者になることが求められています。
- プラスチックごみがどこへ行っているのか関心を持ち、私たちの前から消えたプラスチックごみが世界のどこかで環境汚染を引き起こしていることについて考えてみましょう。
- ごみの行方を考えながら、もっときちんと分別する習慣をつけることが、何よりも重要です。できることから始めましょう。

[参照文献：国民生活\_2021.3（国民生活センター発行）]

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン <sup>いやや</sup> ☎188

